



2012年8月6日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾横浜初等部 学校設置認可について

慶應義塾は、2013年（平成25年）4月に横浜初等部（学校教育法による小学校）を開設するべく手続を進めてまいりましたが、この度、8月3日付で神奈川県知事より学校設置認可が得られました。横浜初等部の概要、教育目標、教育の特色、進学先、施設概要、募集概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 名称 慶應義塾横浜初等部
2. 開設時期 2013年(平成25年)4月1日
3. 場所 神奈川県横浜市青葉区あざみ野南3-1-3
(東急田園都市線 江田駅下車 徒歩約10分) 校舎は2012年11月竣工予定
4. 定員 入学定員 108名(1学年3学級) 1学級あたり、男子22名・女子14名
総定員 648名
5. 進学先 横浜初等部の卒業生は、部長(学校長)の推薦により慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部に進学します。そして、横浜初等部と湘南藤沢中等部・高等部の連携により、我が国の初等中等教育を先導する新しい小中高一貫教育の実践をめざします。
湘南藤沢中等部・高等部の卒業生は慶應義塾の他の高等学校と同様に、推薦により湘南藤沢キャンパスの学部に限らず慶應義塾大学の全学部に進学します。
6. 教育目標 横浜初等部では、入学間もない時期には、健康な身体と共に「律儀正直親切」な性質を養い、6年間を通じて、知力、体力、気力、表現力、人の心を思いやる力、異なる価値観を超えて協力する力、社会的責任感と倫理感など、多様な資質を育みます。
そのために日々の教育においては、基礎学力の重視はもとより、次の三つの柱を大切にします。抽象的な理屈をそのまま受容するのではなく、観察・体験のなかで能動的に掴みとることを通じて自然・地域社会・国際社会等への理解と洞察を深める「体験教育」、自己の目標や限界に挑戦し困難を克服する力を養う「自己挑戦教育」、更なる情報化・国際化の中で、英語教育のみならず日本語においても、良書に親しむことと、自分の考えを他人が理解できるように言葉で表現する訓練を通じて、あらゆる思考の基盤となる読む力と書く力を養う「言葉の力の教育」です。

6年間の課程を経て、強健な身体、気力と快活さに富んだ精神、弛まず積極的に事をなす姿勢、自ら思慮判断する智力に裏付けられた勇気といった、「身体健康精神活発」と「敢為活発堅忍不屈の精神」の基礎を培ってもらいたいと期待します。将来の益々複雑で変化の激しい時代において、直面する様々な困難に粘り強く取り組むことができる人材を育成します。

7. 教育の特色 横浜初等部と湘南藤沢中等部・高等部では、大学までを見据えた新たな小中高一貫教育の実現を目指して、基礎学力の重視、教育内容上の連続性に留意しながら、カリキュラムの充実に向けて必要な連携を行います。12年間を通じて、発達段階に応じてきめ細やかに見守ることができる環境を大切にするためにも、両校の教員が互いに一部の授業を兼務で担当するなど、相互に交流を深め、生徒一人一人を、より長い時間軸の中で、より多面的・総合的に捉えるようにします。

横浜初等部においては、週6日制の実施によって十分な授業時間数を確保し、先取りでは無い真のゆとりある教育を展開します。低学年から、音楽・図画工作・体育・英語等では専科制を実施し、英語については、1年生から複数の専科教員できめ細やかな授業を行います。また、高学年(5・6年生)では、全ての科目が専科制となる教科担任制をとります。

特色ある科目には、以下のような科目があります。

- 「書道・古典」: 長い歴史の中で育まれてきた言葉の響きや文字の美しさに触れ、将来国際社会で活躍する日本人として不可欠な教養の素地を作ります。
- 「生き方科」: 学習指導要領上の生活科(1・2年)から家庭科(5・6年)までを有機的に繋ぎ、各学年で、家庭とそれを取り巻く環境という身近な題材について、各教科で学んだ知識を用い多面的・総合的に考えます。
- 「福澤先生の時間」: 福澤諭吉や門下生の生き方・著述等を徳育の中心とし、歴史的使命感や社会への責任感を感じ取ります。

また、言語技術教育に力を入れ、各科目において、論理的な思考力の基盤となる読む力と書く力を養います。さらに、文字の言葉だけでなく数の言葉(統計教育)も重視し、現象を読み解く力、問題を見出し解決する力を養います。

8. 施設概要

校地面積	37,955.40 m ²
運動場面積	11,958.41 m ²
校舎床面積	15,662.80 m ²
鉄筋コンクリート造り	地上4階建て

主な施設:

普通教室、多目的教室、特別教室、図書館、講堂、体育館、グラウンド、屋外プール、食堂、保健室

9. 募集概要

募集人員: 第1学年児童 男子66名 女子42名 計108名
受験資格: 2006(平成18)年4月2日から2007(平成19)年4月1日までに生まれた者
募集要項販売期間: 9月18日(火)~10月16日(火)
出願期間: 10月15日(月)・16日(火)(郵送受付)

試験期間： [1次試験]11月17日(土)・18日(日) 試験はそのうち1日のみです。
[2次試験]11月23日(金)～25日(日) 試験はそのうち1日のみです。
合格発表： [1次試験]11月20日(火) [2次試験]11月29日(木)
入学手続： 12月5日(水)
入学に必要な費用： 入学金 340,000円
授業料(年額) 940,000円
施設設備費(年額) 450,000円
教材費(年額) 20,000円
給食費(年額) 110,000円(予定)

* 慶應義塾横浜初等部 WEB サイト

<http://www.yokohama-e.keio.ac.jp/>

科目概要、時間割などはWEBサイトに掲載されている「学校案内(PDFファイル)」でご確認ください。

参考：慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部について

- 1992年開校
- 中高一貫6年制の男女共学校であり、「異文化交流」と「情報教育」を特色とし、「社会的責任を自覚し、知性、感性、体力にバランスのとれた教養人の育成」を目標としています。
- 住所：神奈川県藤沢市遠藤5466(慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内)
- アクセス：
 - ・小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台駅下車
西口よりバス [慶応大学] 行 約15分
 - ・JR東海道線 辻堂駅下車 北口よりバス [慶応大学] 行 約25分
- 横浜初等部からのアクセス：東急田園都市線江田駅～中央林間(約20分) 小田急江ノ島線に乗り換え湘南台下車(急行利用で約15分)、バス(約15分)

以上

ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

本リリースは文部科学省記者会、各社社会部/横浜支局、TV各局等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室(中島) TEL: 03-5427-1541 FAX: 03-5441-7640

Email: m-koho@adst.keio.ac.jp http://www.keio.ac.jp/